

平成26年度 サンゴ礁保全対策事業(オニヒトデ駆除)実績

市町村名	駆除事業費	駆除海域	駆除数	駆除日数	状況	
奄美市	2,506,000	名瀬地区	知名瀬沖北側	24	9	南側より被度は少ないが健全な群体が成長を続けている。優占型は卓状および樹枝状ミドリイシ。被度40%
		知名瀬沖南側	25	9	サンゴは健全な状態であるが、群体全体の数%がオニヒトデ食害を受けている。優占型は卓状および樹枝状ミドリイシ。被度60%	
		笠利地区	用安	12	7	ところどころ白くなっているが、少しずつ増えてきているように思う。サンゴ被度25%~50%未満
			節田	12	5	ところどころ白くなっているが、少しずつ増えてきているように思う。サンゴ被度25%~50%未満
		住用地区	和瀬三ツ瀬	0	1	サンゴ被度25%未満。白化から回復したサンゴがよく見られる
			和瀬港入口	0	1	サンゴ被度50%未満。死んだサンゴと良い状態のサンゴがわからない
			和瀬黒崎	0	1	サンゴ被度50%未満。生きているサンゴが多くなっている
			スタルトビラ周辺	0	1	サンゴ被度50%未満。よい状態
			トビラ島周辺	0	1	サンゴ被度50%~75%未満。海水がにごってサンゴは死んだ状態
			市崎周辺	0	1	サンゴ被度25%~50%未満。ミドリイシ類がよく見られる。
大和村	629,640	西浜沖	0	1	中央部は死滅状態。東側岬は3cm程度のサンゴが再生しつつある。	
		ヒエン浜沖	0	1	全体的に再生が進んでいる。	
		大金久・大棚沖	0	1	大金久は殆ど再生していない。大棚は再生が進んでいる。	
		名音沖	1	1	サンゴは4cm~6cmサイズが再生しつつある、所によって20cmサイズが再生していた。	
		石川沖	0	1	サンゴ死滅状態。再生の兆しが見えない。	
		今里沖	0	1	サンゴ死滅状態。再生の兆しが見える。	
		宮古崎沖	6	1	サンゴの生育も良いが、オニヒトデによる食害も進んでいる。	
		志戸勘沖	0	1	サンゴ礁死滅。95%死滅	
宇検村	876,000	タエン浜	11	8	減少傾向にある。	
		宇天	3	1.5	20cm未満2匹、20~30cm1匹	
		大仏サンゴ	8	1.5	20cm未満1匹、20~30cm7匹	
		コーラルガーデン	0	1.5	オニヒトデの確認なし	
		今徳浜	4	0.5	20~30cm4匹	
		ハナゴイ	8	1.5	20cm未満4匹、20~30cm4匹	

## 平成26年度 サンゴ礁保全対策事業(オニヒトデ駆除)実績

市町村名	駆除事業費	駆除海域	駆除数	駆除日数	状況
龍郷町	1,036,000	白浦	3	0.5	20cm未満2匹、20～30cm1匹
		今井崎	0	1	オニヒトデの確認なし
		学校下	0	1	オニヒトデの確認なし
		倉崎	10	1	20cm未満4匹、20～30cm6匹
		円	3	1	20～30cm3匹
		嘉渡	11	1	20cm未満7匹、20～30cm4匹
		戸口アウン	0	0.5	オニヒトデの確認なし
		戸口白浜	0	0.5	オニヒトデの確認なし
瀬戸内町	4,276,000	安脚場(西)	38	16	サンゴは回復状況にある。
		安脚場(東)	45	16	サンゴは回復状況にある。
		デリキョンマ	28	8	数が少し増えている。大きいのが混じっている。
徳之島町	1,221,000	睦	50	10	オニヒトデの数が多かった。
		母間	34	8	食痕が大きかった。
天城町	933,000	ツインポイント	0	3.5	オニヒトデの確認なし。
		千間沖	0	3.5	駆除したオニヒトデも痩せていた。
伊仙町	775,000	喜念崎	13	4	昨年と比べてオニヒトデの数はさほど変わりはない。一部で白化が見られたが、サンゴの発育は良好である。
		佐弁	8	3	オニヒトデのサイズは小型である。他の海域より多少の食痕が見られたがサンゴは良好である。
		面縄	7	3	オニヒトデのサイズは小型である。サンゴの発育は良好である。
和泊町	697,000	美瀬	25	5	昨年度の最多駆除海域だがオニヒトデが減少。
		シナハ	40	4	美瀬隣の海域だが美瀬からの移入があったと思われる。
		南栄	33	3	昨年度より駆除数が激増した。
		西原	4	1	サンゴ被度は低い安定している。
		出花	2	1	被度は低い健康的で安定している。今後期待できる海域。
		ワンジョ	0	1	食害が見られるが駆除は0。
		イダシチ	1	1	食害が多く、オニヒトデが隠れている可能性がある。

## 平成26年度 サンゴ礁保全対策事業(オニヒトデ駆除)実績

市町村名	駆除事業費	駆除海域	駆除数	駆除日数	状況
知名町	800,000	屋子母(西)	0	1	台風の影響で所々でサンゴが折れているのが目立っていた。
		沖泊(海人)	0	1	ミドリイシサンゴの群体の一部にレイシガイの食害とアンカーでの破壊の被害を確認した。
		ウジジ浜沖	0	1.5	台風の影響でハナヤサイサンゴ等が折れている箇所が多く見られた。
		与和の浜	2	1	毎回この海域では、オニヒトデを発見する。また、レイシガイの食害も多い。
		屋子母(東)	8	2	オニヒトデは減少傾向にあるが、1日で大きい個体を含む7匹というこれまでにない駆除数を確認した。
		正名(ウドマイ)	1	2	被覆状のサンゴが多いところであるが、コブハマサンゴの若い個体が生き生きとしているものが見られた。
		屋子母沖	0	0.5	オニヒトデの目撃情報をもとに駆除を行ったが、食害を確認しただけでヒトデを発見することが出来なかった。
与論町	681,600	茶花沖	403	15	食痕はみられるが、数は少ない。
		長崎沖	176	8	数は少なく、小さい。
		皆田沖	320	12	大小様々なオニヒトデが多くみられた。
		赤崎沖	92	2	全体的に小さなオニヒトデが多くみられた。
		赤崎沖(灯台東)	165	5	全体的に小さなオニヒトデが多くみられた。
合計	14,431,240		1,636	207	